



世界の平和と人類の助かりの光に

教会だより 『しのはら』

宗教法人 金光教篠原教会 〒 520-2301 野洲市小南1842番地

☎077 (587) 1624 FAX 077 (587) 1867 Eメール shinohara-ko373@hotmail.co.jp

いっちゃん・こちちゃん

春季霊祭 3月10日(月) 一時半



親思う心に親は居ますなり守もれわが身を親と置いて (佐藤範雄師詠歌)

お御霊さまに心を寄せ日々のお守りお導きにお礼を申しましょう

尚、特別に慰霊祭を願われる方は3月1日までに教会までお届けください

大雪、山火事に見舞われた地方の方々にお見舞い申し上げます。

5年前の3月号には、境内の梅満開。1月末、土手で積んだ“落のとう”がお供えになり、2月1日の月例霊祭にみなさんにお下がりし、春の香りをみんなで喜んだという暖冬の様子。そして、コロナで大変な、殺伐とした世の中の状況が記されていました。

「そうやったんや!」と、改めて神様にお礼を申し上げました。

ある日の出来事 荷車の話

大津教会発行 修行物語控えより

(筆者現代語訳要約)

高瀬橋は、いつの日でも、人通りが多く車夫が困る難所。前日の雨で道路がぬかるみ、荷車が泥の輪形へ食い込んで、2人の車夫が困っていた。そんなところへ通り合わせた私は、見るに見かねて、私には力はないけれど、天地の神様、生神金光大神のお力によってお助け下さいと一心にお願いして、車の後ろへ回って「私が後押しするから、お二人は気を合わせ引っ張りなさい」と言った。「ご親切はありがたいけれど、2,3人で後押しても動かないから、荷物を下ろすしかない」と言う。私は、何とかしてご神徳の光を頂きたいと思い、「今一度引いてみなさい。人の真は天地に貫くものだから、君達も人の行為をお受けなさい」と再三言った。「ダメで元々、親切に言うてくれるから、引いてみよう」と、やっと引く



★ ★ ★ ★ ★
このお話は、大津初代先生 35才入信の頃のお話です。

ことになった。私は、後ろで自分の手を車にかけないで、一心不乱に神さまのお力をお願いし、気合を入れて車を押す真似をすると、その途端、食い込んでいた車が難なく引き出された。周りの人も車夫達も驚き車夫は大喜び。「あなたはどなたですか、住所と名前を教えてください」と言ったが、自分の力ではなく天地金乃神のお助けて、金光さまのお徳を受けて、出来たこと。君達の今日の幸せは神様のお情けで助けられたので、天地の神様に厚くお礼を申し上げなさい」と言って立ち去った。私は、ありがたく、家内の皆に、罪を一つ取っていただいたと喜んで、その後も一層心掛けて信心いたしました。

かん がく さい
勸学祭

3月30日(日) 10:30

新年度を迎え、入園 入学進学のお礼と、元気な心と体で勉強でき、お役に立つ人にならせてくださいと、神さまにお願いさせて頂きましょう





お御霊さまに心を向けましょう

3月5日は、初代先生のご命日です。お繰り合わせを頂いて参拝させていただきます。3月祥月命日を迎えられるお霊様は下記のとおりです



おみたさま ありがとう



奥山弥照真幸大人 和田よね刀自 奥野真之助老叟 山田四七吉大人 和田はつ刀自 北村るい刀自
上才岩治郎老叟 上才ハツ子郎女 上才末子郎女 上才徳治郎老叟 **奥山勇蔵真心弥巖高根大人**
菱田太三郎翁 田中さと刀自 可知文三郎比古 松浦喜代蔵老叟 馬場喜代影りよ刀自 中島初治大人
馬場音治郎老叟 高嶋ちえ刀自 奥山多助老叟 山田松太郎老叟 西田春義大人 塚田あき刀自
村地くり刀自 山本しか刀自 今井富次郎老叟 山田一利郎子 辻澤直之丞老叟 田中又吉老叟
鈴木芳乃郎女 苗村仙治郎老叟 太田きく刀自 中野せい刀自 清水ちかえ刀自 村地太四郎老叟
新宗重郎老叟 木村なつ刀自 田中伊八老叟 堀井栄太郎大人 可知しま童女 石原りえ刀自
奥山やす刀自 今藤永子郎女 苗村兵九郎老叟 布施忠兵衛老叟 宇野勇作老叟 吉田日出光刀自
増田きよ刀自及び二柱嬰子之霊神 渡辺四郎郎子 増田正吉老叟 辻澤ひさ枝刀自 向井政吉老叟
福島嘉都子姫 中山まさ郎女 北脇操大刀自 黒木照子之霊 高畑弥一之霊

※上記の霊神名簿に記載もれや誤記がありましたら、教会までご連絡ください。

時々刻々どんなときも身に寄り添いお守りくださっています 毎日お礼を申しましょう

3月予定

1	土	おついたち参り
5	水	月例霊祭 14:00
7	金	本部月礼参拝(下記参照)
10	月	金光大神月例祭・春季霊祭 13:30
12・13	水-木	会親教会月例霊祭参拝後 1泊研修
16	日	柏原50日祭参拝後出石教会参拝
21	金	天地金乃神月例祭 14:00
25	火	連合会教師懇談会 13:30(草津)
30	日	勸学祭 10:30

※私用外出:17日(月)出石教会参拝
25(火)9:40~12:30 につこり作業所後草津へ

今月のみ教

生きている時だけ天地金乃神様のお世話になるように思っているが、死んでもお世話にならねばならぬ。魂は天地の神様からお下りくださった身であるから、天からお暇が出たら、また天地の神様のおひざ元に納まって、お世話にならねばならぬものである。体は土から生じたものである。土に納まってお世話にならねばならぬものである。

金光教教典(柏原とくの伝え)

天地万物、地から生じて地に帰りますゆえに、人間が死ぬると「落ち入った」と言っ。鳥が死ぬば「落ちた」と言っ。魚が死ぬると「上がった」と言っ。みなお土地へ帰るものである。

(二代金光さまのご理解)

**4/3(木)本部 天地金乃神大祭 バス参拝
ただいま募集中 3/21 締切り
20名以上の参拝を祈願しております(参拝会)
4/17(月) 篠原教会 天地金乃神大祭奉行**



3月7日(金)本部月礼参拝時刻/

《網干行き》ひかり 533 《広島行き》《金光行き》

篠原 → 京都 → 岡山 → 金光

7:11 発 7:50 着 8:01 発 9:13 着 9:30 10:03 着

